

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.69



平成27年度 通常総会

理事長 澤島直通

平成27年度のイマジン総会が、5/17(日)に島田市総合スポーツセンターローズアリーナ 研修室にて執り行われました。日曜日の夜ではありましたが、多くの正会員、関係機関の方々にお越しいただきまして本当にありがとうございます。

法人の規模も大きくなり、決算報告や予算の規模も大きくなってきました。金額が大きくなったことよりも、法人として安定した事業の継続、雇用の継続、「もしもの時」への対応として保険や研修等に時間やお金を使うようになってきました。今まで気づかなかったこと、対応して来れなかったことにも対応していく必要性が大きくなってきたことを強く感じる報告であり、予算でした。事業報告は、例年通りと言っては怒られそうですが、計画通りに実施してきたことを報告させていただきました。障害福祉サービスの規模が大きくなり、本当に「事業」が中心となり、今年度の事業計画でも、昨年度以上の計画となっています。

この総会では、定款の変更も審議しました。一番大きな変更点は活動の削除です。NPO法人は、「目的(ミッション)」の為に設立します。そして、その目的の為に「活動」を決めます。先行きが定まっていない設立時に作成した定款にあった、実行する見込みのない活動を削除させていただきました。『障害者福祉』だけを実施して来ました。これからも同様です。イマジンは、この1点のみに力を集約していきます。その決意を込めての変更だと思っただきたいです。

イマジンは、「事業型NPO」です。事業を起し、事業を実施することで「目的の達成」を目指していくNPO法人です。正確には、途中から事業に力を入れ事業型NPOを目指したと言えます。一般の会社と違うところは、効率を求めるよりは、いかに目的の達成をしていくかという「有効性」を大切にするとということです。安定した事業の継続には、当然、効率は必要であり大切です。法人である以上、組織である以上、当たり前です。その上で、「目的を達成する」ことを目指していきます。皆さんには、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

審議後の質疑において、正会員の方から質問と要望がありました。ドキッとしました。私たちは日常的な事でも正会員の皆さんには馴染みの薄いこともあります。説明すればいいか・・・と甘く考えていることもあると痛感させられました。顔馴染みの関係から、「法人と会員」「事業所と利用者」「事業主と職員」などと立場や役割、責任などを明確にしていくことも求められています。まだまだ不徳だと反省しました。

しかし、良い気づきをいただき、より良い法人に！より強い法人にしていくことに一層の意欲が湧きます。この点でも皆さんのご指導、ご理解、ご協力をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

無事に審議は終わり、第2部として「成年後見制度について」と題して、実際に障害者への後見人活動をされている、行政書士の福田美奈子さんと司法書士・行政書士の小寺敬二さんに具体的なお話を伺いました。私が今まで聞いてきたどの講演、どの講義より「成年後見人」を理解することが出来るお話でした。手続的なことから、していただけること、必ずしていただけることとそうでないことがあることも分かりました。そして、成年後見人の必要を強く感じました。また、イマジンの事業を続けていくと必ずこの課題と直面しなくてはならないことも改めて確認することが出来ました。

「地域で暮らす」ということは、多くの支援が必要です。ご家族の支援、我々のような障害福祉サービスの支援、地域で同じく暮らす皆さんの支援、医者や薬等の医療の支援、そして権利や財産を守る法律の支援です。成年後見人の活動自体が福祉的な視点を含みながら進められている実態を知り、成年後見制度ができてから日も浅い制度ということからも実施をしながら段々と成熟していることも知り、イマジンの活動や歩みと重なる部分を感じ、何か同じ「障害者を支援」をしているようで親近感を覚えました。

イマジンも13年目に突入しましたが、設立した時と変わらず「当事者の声に寄り添って」事業を展開しています。前記したように変えていかなくてはならない部分や意識はあります。引き続き、職員の養成や支援体制の強化にも尽力していきます。しかし、それと同じくらいに変えてはいけないこともあります。正に、この「当事者の声に寄り添って」は厳守していくことです。

多くの利用者、入居者が居ます。一人ひとりとの関わりは長短、濃淡ありますが『共にしあわせになる しあわせ』に表すように職員共々、皆さんともご一緒に歩んでいきたいと思ひます。



福田美奈子さん



小寺敬二さん





ご家族との関わり

4月より「うきうき雨やどり」「ぶらぶら雨やどり」が加わり、イマジンのグループホームは6つになりました。最後の入居予定者が6月初旬に入居され、現在47名の方々が“我が家”として生活しています。本人の意思で入居を決めた方ばかりではなく、家庭の事情やご家族の意向での入居の方も多くいらっしゃいます。

ご家族がご健在な方ばかりではなく、既に单身となってしまう方、ご家族が高齢になりお会いすることが困難な方、ご家族に問題等がありお会いすることが出来ない方、お会いした後に情緒面が不安定になったり、生活が乱れてしまうなど不具合が大きい為にお会いできない方など、お一人お一人の事情は様々です。

入居されている方もご家族とお会いしたい気持ちを持たれている方とお会いしたくない気持ちの方、障害の程度や発達の程度により、会いたいという気持ちや関心を作ることが出来ない方など様々です。

一般的には、入居者もご家族の気持ちも「会いたい」だと思われるかもしれませんが現実とは違います。

ご家族がご健在で、お会いしたいご希望が多く寄せられるご家族があります。定期的に予定を立てて外出をしたり、ご実家に泊まられたり、会いに来られたりします。ご家族の思いとは裏腹に、外食等が終わると「帰る」とグループホームに帰って来られ、ご家族の車から降りると振り返ることも手を振ることも無く“我が家”へ入っていく方が大半です(笑)。グループホームがご本人にとっての“我が家”になっていると嬉しく感じながらもご家族の寂しい思いに複雑な気持ちになります。

ご家族から「寂しいけど安心する」「本人が落ち着いて生活している証拠だね」「会った後が本人に良くない様なら会わないようにします」などと何よりも本人のことを一番に考え、ご理解する姿、ご理解しようとする姿に頭が下がり、胸を打たれます。また、我々に感謝の言葉をいただくと日々の大変な事や悩ましい問題にも頑張っていく気持ちが湧いてきます。

しかし、面会を繰り返しているうちに面会日を気にして落ち着かなくなる方、面会日が来るまでが待てずにイライラした気持ちから物を破いたり壊したりして発散する姿が見られる方、睡眠や食事・間食に悪い影響が出る方などなど…。ご家族の気持ちを知っているほど「どうしたらいいのか」と考えさせられます。イマジンでは、それぞれのグループホームで本人の様子を細かく見させていただき、ご家族との面会や関わりにご意見をされる場面もあります。「グループホームに入ると会えない」と思われている原因だと思えます。

本人とご家族との関係、特に「親子の関係」をどのような形で保っていくかを振り返っています。子どもといっても「おとな」です。ご家族の気持ちを満たすよりも、入居者の気持ちを満たし、今の生活が幸せなんだと感じられる生活を優先したいと思ってしまう。本人の為の支援を第一に考えて、悩ましい日々がこれからも続きそうです。(担当 杉崎)



そろそろ・ぼちぼちの日々

そろそろ雨やどりの入居者Nさんは、お魚が苦手です。あまり好きではないので残す事もあります。そんなNさんがお魚を美味しく食べるために、世話人と一緒に夕食作りをしました。三枚におろして、下味を付けて焼くことにしました。とても上手に三枚におろすので世話人もびっくりでした。楽しく真剣に料理をして「美味しいお魚さん」に変身！おかげでみんな美味しく食べる事ができて大満足でした。世話人が「これからも、一緒に料理をしようね！」と声をかけると照れくさそうにニッコリしていました。

食べる事が大好きなYさんは健康的な体づくりのために、毎日ウォーキングと腹筋トレをしています。腹筋は最初10回やるのもやっとでしたが、今では50回やっています。自分から世話人へ「さぁ、今日もやろう♪」と声をかけてくれてうれしそうに取り組んでいる姿を見ると「毎日の積み重ねってすごいな！」と感じます。世話人も負けずに体力つけて毎日を元気にがんばっていきたいです。

ぼちぼち雨やどりの入居者の皆さんは元気に過ごしています。入居者のGさんは洗濯物が気になるようで、毎日テレビを観て天気予報を世話人に教えてくれます。先日、そんな様子のGさんが「お金が無い！」と世話人へ伝えてきました。世話人は「あるよ」と財布と一緒に確認しますが訴えは止まらず、タンスの引き出しを床へ投げつけ、引き出しは壊れ衣類は散乱。その場にいた世話人はどうしたらよいのか困ってしまって…。他の世話人が来て話しを聞き状況を確かめると、前日のお小遣い帳がつけてありませんでした。Gさんは自分がお菓子やジュースを購入してお金を使ってしまい、無くなってしまったことを世話人へ伝えてくれていたのです。それに気づいた世話人が「分かったよ。無いね。」と返事をすると、「はいよ～」と言ってすぐに落ち着き、世話人と一緒にお部屋の片づけをしました。世話人が毎日の生活に寄り添い、気づく事が出来ていなかったと反省しました。

入居者の皆さんは、各々が精一杯の表現をしてくれています。伝えようとしています。普段、何げなく話をしていると、つい「話が出る」「分かっている」と思い込んだり、過大評価をしてしまいます。「伝わっているかな？」と心配りすることを疎かにしてしまいます。苦手な部分を見落としがちになります。

みんな、ごめんね…。一緒にこのお家で楽しく過ごすことができるように世話人一同がんばります。先日Oさんに「うるさい！」と怒られた『おしゃべり大好きな世話人』も反省↓↓しています…。(担当 岡本)



温かなソファー

梅雨に入るか入らないかの不安定な天気は、気分が落ち着かないですね。そんな天気にも負けずに、この指の子どもたちは元気いっぱいです♪

最近では暑い日も多かったので、この指では水遊びを始めました。たらいに水をためて、ピチャピチャと感覚遊びをニコニコ楽しむMちゃん。鳥さん大好きなIくんは「鳩の水浴び」と称し、たらいにアヒルさんを浮かせて遊んだり、泥水でコーヒーを作ったり、川を作ったりと大忙しです。2人がとても楽しそうに遊んでいる姿を見て、私たち支援員も嬉しくなります。

話は変わって、現在の「この指とまれ」の建物は大家さん宅と同じ敷地にあります。その大家さんご家族が引越され、家の片付けに来られた時に「良かったらもらって」と立派なソファーを頂きました！座り心地がとっても良く、座ると落ち着きます。そんなソファーはやっぱりこどもたちに大人気です！MちゃんやYくんは、おやつ後一目散にソファーに横になってくつろぎます。他のイスに座るのは嫌がるのに、そのソファーに座るのは全く嫌がらず気持ち良さそうにしているYちゃん。もう1人のTちゃんは、座って「隣に来て」と言わんばかりにポンポンとソファーを叩き、支援員が隣に座ると“してやったり”と言う表情で「きゃはは」と笑いながら、立ち去ってしまいます。そんなTちゃんも、とても疲れた時は、そのソファーに座り静かに休んでいます。

私は勝手に『大家さんは、きっと島田市内のどこかに引っ越したのだろう』と思ってました。しかし、聞いてみると「長野県」との事。行けないほど遠くはないけれど、県外というと何だか遠い気がします。とっても優しい大家さんご家族で、私たち「この指とまれ」のことも暖かく見守ってくれていたのも何だか寂しい気持ちになります。頂いたソファーが見守ってくれていると思い、日々過ごしています。（担当 油井）



気配りは“目”から♪

もうすぐ夏ですね。

本格的に暑くなってきました。雲のことばの通所者さんたちは暑さにも負けず、毎日元気に通って来てくれています。

毎年暑くなると気になるのが利用者さんの体温です。熱中症の予防はもちろんですが、中にはご自身での体温調整が難しく、体内に熱がこもってしまう方もいらっしゃいます。また、暑さを感じてご自身で訴える事ができる方なら職員側も気がつきやすいのですが、自ら訴えることが難しい方もいらっしゃいます。まずは様子の変化に気を配り、体に触れたり、体温を計測したりと体温の上昇をいち早く察知しなければなりません。

様子の変化に気を配る、と書きましたがこれは体温の上昇に限った事ではありません。感情面の揺れは外見からは分かりにくく、ちょっとした動作や発言、表情から利用者さんの“気持ちの変化”を察知できるかどうかでその後の対応が大きく変わることもあります。

感情や気持ちを言葉で表現する事が苦手な方が多い中で、どれだけ“言葉無き訴えに気が付けるか”は職員側の大きな課題です。言葉は重要なツールではありますが、同時に言葉でのやり取りに限界を感じる様な場面にも遭遇します。そんな状況で利用者さんの変化を察知するには、とにかく利用者さんをよく「見る」事だと思います。職員側がはっきりとした意識を持って利用者さんを見ていくと不思議なもので、今まで見えなかった利用者さんの表情や行動に気付くことがあるんです。体調の変化や心の動きに気付くには常日頃から利用者さんの様子に変化はないかな？と意識を持って利用者さんを見ていく、この積み重ね、繰り返すことで自然と出来るようになることが大切なんだと思います。意識して始めて癖づけることに取り組んでいます。

最近では、少しずつですが職員間の会話にも変化が出てきました。「今日はA君、笑顔が多いね」「B君、朝から表情硬くない？」といった会話が増えました。時には「C君がこんな仕草を見せていたけどどう思う？」と職員間でプチ会議が始まる事もあります。

多くの利用者さんを職員が単独で見えていくのは不可能です。チームワークの大切さを日々、強く感じながら「見る」事を一層意識してこの暑い夏をみんなで一緒に楽しんでしまおうと思います。

通所者に負けられないように！職員も育ちますよ～♪（担当 渡邊）



◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。◆◆

イマジンでは、障害を持つ方も、そのご家族も、この地域に安心して暮らしていくために地域生活を支援していきます。グループホームを始めとして建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご寄付のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771 ※お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。
特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



平成27年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成27年度の正会員の募集を開始しています。本年度同様に来年度もイマジンの活動趣旨に賛同・ご協力をしてくださる正会員の募集です。

年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。



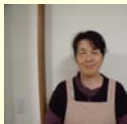
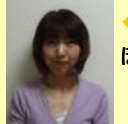



☆青木 慶子	☆青嶋 勝男	☆青島大治郎	☆朝田 啓野	☆安達 政弘	☆天野 恭子	☆石田 一志
☆市川 建一	☆稲葉みどり	☆稲守 活次	☆江塚 和由	☆大石 京	☆大石 重夫	☆大石 義治
☆大村 敦始	☆岡本 佳和	☆小栗 正巳	☆片瀬 正治	☆片山 廣子	☆加藤 旬美	☆上城 公雄
☆上城 伸栄	☆河原 均	☆喜田 星夫	☆久保田里美	☆久保田真生	☆紅林 勉	☆齋藤 亨
☆斉藤 哲夫	☆酒井 勝	☆櫻井 雅彦	☆佐々木輝夫	☆佐藤 博	☆佐藤 尚野	☆澤島 直通
☆塩澤 満	☆柴 勲	☆杉本 唯夫	☆杉本 斉	☆杉山 勝美	☆鈴木 利春	☆鈴木 康之
☆鈴木 義男	☆高木 幸有	☆竹内伊知郎	☆竹林 義記	☆立石 久	☆田中まり子	☆田村 淑子
☆田村代志子	☆塚本 夏子	☆蔦川 由美	☆筒井由美子	☆寺岡 淳	☆寺岡 雅紀	☆戸塚 和重
☆内藤 利章	☆永井孝次郎	☆中島 和雄	☆中嶋 春夫	☆永田 哲也	☆仲田るみ子	☆永田喜美代
☆中野 敦裕	☆中野 重弘	☆名波 久載	☆西川 和宏	☆西谷 稔	☆二宮 温子	☆野崎 博
☆袴田 則子	☆橋ヶ谷正彦	☆平野 邦江	☆兵庫 信男	☆平井 洋作	☆福田美奈子	☆藤巻 正人
☆二見 孝秋	☆堀田 力男	☆前田ともみ	☆牧野 利明	☆増田 馨	☆増田 俊彦	☆増田 春夫
☆松本 聖市	☆松本 秀男	☆萬年 崇則	☆三浦 勇	☆宮浦 克枝	☆三輪 司	☆村田 芳生
☆村田 千枝	☆望月 祐基	☆森下 郁乃	☆森田 茂	☆森田 敬之	☆森西 春雄	☆森本 輝一
☆八木 哲仁	☆八木 はる	☆安井 茂	☆山内 佐敏	☆山河 勇治	☆山田美智子	☆山田 善己
☆吉添みえ子	☆吉田 一彦	☆渡邊 広記				

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



新しい仲間の紹介♪ よろしくお願ひします！

 <p>◆ 千葉 節子 ぶらぶら雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 渡邊 道子 うきうき雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 鈴木 裕子 うきうき雨やどり世話人</p>
 <p>◆ 佐藤 清美 ほちほち雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 中村 田鶴子 うきうき雨やどり世話人</p>	 <p>◆ 諸田 信雄 ほちほち雨やどり世話人</p>
 <p>◆ 永田 瀬里菜 つつい雨やどり世話人</p>		

【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20
 TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
<http://www3.tokai.or.jp/imagine/>

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1
 TEL / FAX 0547-30-4117
 e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

